

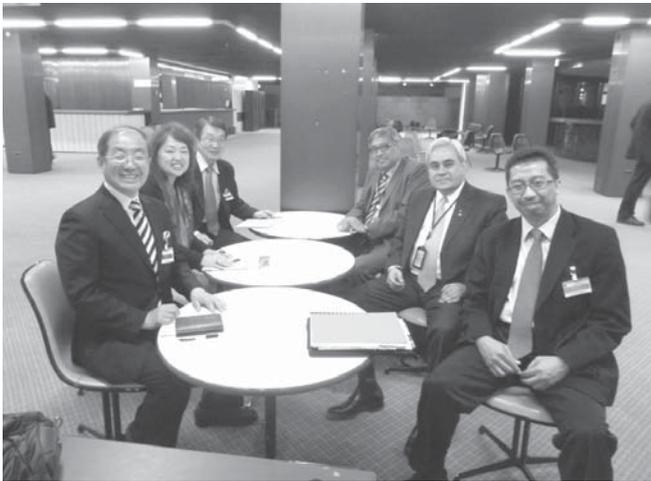
非核の政府を 求める大阪の会

非核の政府を求める大阪の会 中西 裕人
〒542-0012 大阪市中央区谷町 7-3-4 (新谷町第3ビル 210号)
TEL.06(6765)3032 FAX.06(6765)3033
URL・http://homepage3.nifty.com/hikakuosaka/
E-mail・hikakuosaka@hotmail.com
hikaku-osaka1986@nifty.com

第156号 2013年7月1日

ニュース

「核兵器の非人道性」 すら政府は認めないのか!



ジュネーブで開催された二〇一五年NPT再検討会議のための第二回準備委員会(四月二二日〜五月三日)に日本原水協代表団の一人として参加された大阪原水協の小松正明事務局長の報告です。

「潘基文事務局長のすすめで、初めて世界大会に参加して感動しました。暑い中で若者が署名を集めている姿に深く感銘しました」。アンゲラ・ケイン上級代表が世界大会の印象を述べられ、高草木团长から「核兵器全面禁止のアピール」署名二七五万筆が手渡されま

した。一緒に受け取られたコルネル・フェルタ第二回準備委員会議長は、「被爆者の体験、被爆国の声を聞くことは重要。出席している各国政府の代表部にしっかりと伝えたい」と述べ、核兵器禁止条約の交渉開始を求める要請を会議に報告することを約束してくれました。

二日目、国連欧州本部本会議場に、広島で被爆した藤森俊希さんの声が響きました。傍には、松井広島市長、田上長崎市長が。「九歳で被爆し、祖父母と両親、兄弟姉妹七人すべてがガンで

早く亡くなりました。今世界が核兵器の人道的影響を論じている時、私たち被爆者こそが、このことを身をもって証明することができません。涙ながらの訴えに、誰が演説しても拍手が起らない会場といわれる本会議場に、各国軍縮大使からの大きく長い拍手が続きました。「核兵器のない世界」をつくる最大の説得力が被爆者証言と原爆展であることを再度、胸に刻みました。

- 【非核五項目】
- ① 全人類共通の緊急課題として核戦争防止、核兵器廃絶の実現を求める。
 - ② 国是とされる非核三原則を厳守する。
 - ③ 日本の核戦場化へのすべての措置を阻止する。
 - ④ 国家補償による被爆者援護法を制定する。
 - ⑤ 原水爆禁止世界大会の、これまでの合意にもとづいて国際連帯を強化する。

ン・アーチヤン事務局長と固い握手。世界のNGO(非政府組織)の仲間すべてが、「核兵器のない世界は現実となりつつある」を象徴する場面でした。今回の代表団活動で明らかになったことは、一九九〇年への要請活動を通して二〇一〇年NPT最終文書「核兵器のない世界の平和と安全を達成する」は、大きな世界の主流となり、核兵器保有国五カ国に実行を迫っていることです。その中で国連、非同盟諸国や世界のNGOが原水爆禁止世界大会に参加し、日本の原水爆禁止運動と深く連帯し、世界で大きな力を発揮していることでした。



五月十八日、巷では女性を戦争や性の道具とみなす橋下氏、それに輪をかけるような発言が続く維新の会。韓国はもろろん世界の国々から異議が唱えられる。そんな折に第六回戦争の傷あと「銘板めぐり&清掃ツアー」が企画されました。集合の堺駅では、地域の方々の振るまいお薄と和菓子をいただき、幸先よい出発です。堺市戦災殉難の地、堺大空襲を偲び平和を祈念する碑はともに駅からすぐにあります、昭和二

銘板めぐり ツアー

第六回戦争の傷あと

○年七月一〇日未明の空襲により旧市全焼。戦争の悲惨を後世に伝え、平和を祈り建立されたものです。利休屋敷跡では「椿の井戸」を前に、小さき・狭き・簡素・地味なものを美とした利休をしのびました。堺旧市街の街並みは、道もゆつたり広く、そこここに花が咲きのびやかな空気が漂います。与謝野晶子生家跡では、立派な碑を写真に収めました。大阪府立泉陽高等学校にある「君死にたまふこと勿れ」の歌碑へも行きかけたのですが、土曜日で立ち入りが認められず、晶子と鉄幹が初めてデートした浜寺公園へと向かいました。残念、以前は入れたそうです。色とりどりの花々が満喫し、バラの香につつまれて帰路につきましました。

五月三十一日、国連人権高等弁務官事務所第五〇回拷問禁止委員会が

Date: Thu, 2 May 2013 23:24:01 +0200
Subject: 被爆後 60 年間に表現された広島非核平和作品

私はフランスに住む竹内いくみ DANNENMULLER と申します。実は、パリの高等社会科学大学にて就学中の娘、ALICE は、ここ数年広島、原爆、核問題に取り組んでいます。その研究のさい日本サイドの調べ物をしているときに下記のサイトを見つけました。(注: 当会のホームページの「データブックⅢ」の内容のこと) たいそう詳しく編成されたこのリストを元にするによって彼女の研究は、大いに助けられています。恐らく、貴グループによる資料ではないか? という日本の友人の助力でメールを差し上げています。もし私の推測が正しいのであればこんなにうれしいことはありません。娘の日本語理解度はまだこういった研究資料を解釈するにはいたりませんがその分私が手伝い役を務めています。この資料を作られた方はどなたでしょうか? お教えいただければ幸いです。

Date: Tue, 7 May 2013 04:58:59 +0200
Subject: 非核。平和文化歴史表現作品一覧

谷本様
早速のご返事をありがとうございました。お知らせくださいましたHPを通じて多くの資料に触れることができ娘の研究に大いに役立っています。重ね重ねお礼を申し上げます。数年前のある被爆女性との出会いが娘の今日の研究に根ざしています。原爆、核、非核問題を研究することによってひいては、彼女自身のアイデンティティ探求でもありましょう。娘の現在の日本語理解度では、貴資料を判読、理解にはいたりませんが日本語理解への大きな動機であることは確かです。第二部'60年の非核文化歴史表現作品'を担当された長尾さんに連絡を取ることは可能でしょうか?

フランスからメールでアクセス!!

軍慰安婦に関し、事実を否定することをやめ、関連資料を公開し精査せよとの勧告 (Victims of military sexual slavery) をだしました。
青山むつみ

今年是非核大阪の会と長年お付き合いがあるフイリピンの反核平和活動家コロン・ファブラスさんの娘さんマラヤ・ファブラスさんが国民平和大行進の通し行進者として東京から

広島まで行進されています。大阪は六月三日から七月七日まで府下各自治体を行進されています。

広島まで行進されています。大阪は六月三日から七月七日まで府下各自治体を行進されています。

事務局連絡 ― 今年のポスター (案) 乞うご期待! ― 非核
メインテーマ: 「核兵器も原発もない世界へ」 決断と行動を
サブテーマ: 非核日本のため平和憲法厳守を
＜ポスター図案検討中＞
感謝! 5月18日の銘板巡りの際、参加された広上様より「記念切手」(29,909円分)をご寄贈いただきました。

四日市の空襲記憶

松下 昭

読者より、貴重な戦中、戦後の体験が寄せられましたので紹介します。

私は昭和二〇年三月学徒動員解除になり、四月にある工場（公害問題で有名な）に就職しました。仕事に慣れた時分の六月に陸軍省が国土防衛隊と言う部隊を作り、一七歳から五〇歳迄迄の男子を赤紙一枚で召集しました。部隊名は東海三一五〇四部隊、当時の四日市商工学校の空き校舎が部隊本部でした。（学生は全員学徒動員で学校は休校中）一五〇人から二〇〇人ぐらいの部隊だったと記憶しています。津の連隊から現役の兵隊が四名ぐらい、長は確か陸軍中尉だったかな？六月の一日頃に入隊し一八日の夜中に不寝番に当たり、ごぼう剣だけ腰につけ兵舎内いや校舎内をうろうろ（軍隊用語

で動哨）しておりました。毎晩の様に警戒警報は出ておりました。その時ブルンブルンと言うB29の爆音が聞こえたので、すぐ衛兵指令所（詰所）に「空襲！」と報告したのですが、誰も信じてくれず、反対に「空襲警報が発令されていないのに必要な事を言うな」と上官に叱られました。私は三月一三日の大阪空襲を体験し、堺、西宮、神戸の空襲も見ておりますので「あの爆音はB29に間違いないりません」と言っている最中に夜空が昼の様に明るくなり照明弾が四日市の街を取り囲むように落とされ、続いてその囲いの中へ焼夷弾が花火の様に、いや雨の様に降り注ぎました。上官や古参兵は初めての事なのでうろろしながら我先に逃げ出し、私は銃と奉公袋、着替え袋を持って校庭の隅に造られている簡

単な防空壕に避難、いや逃げました。校舎も焼夷弾の直撃を受け、脆くも全焼、校庭には焼夷弾の燃えカスがごろごろ、夜が明けると焼けた市内から兵隊の嫁さん、親、子供達が続々と学校の門のところへ詰めかけました。まともな格好をした人は一人もおられません。皆寝間着姿か、下着姿で真っ黒な顔、焼けた髪、下駄か草履履き姿で、「おとうちゃん家焼けた、あの人が焼けたんだ、家の子が居てない、どないしよう。」と、兵隊は門の外へ出られません。柵越しに「あしる、こうしろ」と言うのが精一杯。幸いにも兵隊は死傷者無し、昼過ぎに大八車に焼け残った食料を積み天理教の詰所に寄って米の俵詰めを貰い、焼けなかつた町外れの国民学校へ移動しました。途中に黒こげの死体、手足の千切れた人（勿論死人数多く見ました。けれども、どうすることも出来ずに学校に着

き、夕方になって部隊長が一時帰郷を発表しそれぞれの家に帰りました。尾上町にあった会社の寮は幸いにも焼けずに残っていました。しばらく会社に出て7月にまた部隊に戻りました。空襲の日の夕方に何故一時除隊になったのか？兵舎は小学校を借りる事が出来ましたが、寝具布団蚊帳類が全部焼けてなくなり軍は国防婦人会にそれらの調達を命じました。兵隊は家、家族の安否を確かめるため除隊です。と同時に武器の調達です。何故ならば銃も持たずに避難した兵隊が多くおりました。私達会社には青年学校なるものが有り、そこには軍事教練の為の三八式歩兵銃、銃剣、軽機関銃等がかなり銃器庫に並んでいました。一般の召集兵は軍の弾の出ない教練銃を支給されていた。私も会社の青年学校に借用書の更新をして七月はじめに銃剣、食器のド

ンブリ碗二ヶと箸箱、着替え、歩兵操典“ドンブリは万古焼”。寮の食器はすべて四日市名産の万古焼でした。それらを奉公袋に詰め込んで、また東海三一五〇四部隊に帰りました。帰隊してからの訓練が、がらりと変わりました。現代の言うところ自爆訓練です。まず坂の上から年配の兵隊二名で大八車を引っ張り下つてきます。私達は長さ三米程の竹竿の先に一〇センチ角×長さ三〇センチ位の角材を取り付けたものを手に持って道端の窪みに潜み、下つて来た大八車の下に差し込みます。直ぐに反転、回避すれば教官が大声で「成功」。又、野球のベースの様なのを両手に持って大八車の上に乗せて反転、回避、これまた教官が「成功」、乗らない時は「不成功」やり直して出来る迄しごかれま

した。大八車は何か？それはアメリカ軍のM4戦車に見立てての訓練なのですが、近づくと前に大きなナスとキュウリ「いただきます！」がぶりと食べたこと・・・「お百姓さんまうでしようね。竹竿の先に括り付けた物は“刺突爆雷”と言われベース状の物は“フトン爆雷”と呼ばれていました。とにかく死の訓練だなと私は思っております。

ある日の夕食時に部隊長命令があり、「本日二〇時完全武装して兵舎前に集合、但し銃は音のしない様に紐、ポロキレで巻いておくように、そして着剣出来るように」と指示がありました。二〇時に集合すると、やおら部隊長「敵アメリカの上陸部隊が四日市港に潜入せり、我部隊はこれを殲滅せんとす」出動前へ進めの号令があり、兵隊達は着剣した銃を持って焼けて何も無い街を東へ港の方へ時々匍匐前進を交えて進みました。丁度野菜畑の中で小休止。勿論身体はうつつ伏しのまま、目の前に大きなナスとキュウリ「いただきます！」がぶりと食べたこと・・・「お百姓さん

御免やで」は胸の内。夜中過ぎに状況終了、帰りは立って歩いて帰隊しました。

昭和二年八月十五日の後

私が一九四五年四月に就職した会社の四日市工場には連合国軍の捕虜収容所が在りました。工場の南側の正門外にあり、東側はすぐ伊勢湾の海で、西側はかなり広い原っぱになっていました。捕虜の人数は一〇〇人位だったでしょうか？南方フイリッピンで日本軍の捕虜になったオーストラリア(豪州兵)が多く居た様でした。収容所の建物は木造平屋建てで三棟在った様に記憶しています。内大きな建物の屋根には白いペンキでローマ字で何か記号が書いてあったように記憶しております。彼ら捕虜達は昼は日本の工員(労働者)と同じ様に真っ黒になつて働いていました。但し作業は製品等の運

搬作業でした。朝夕の出退時の正門を通る時捕虜監視員が大声で「歩調取れ」と号令を掛けますが捕虜達は足が上がりません。すると監視員が長い竹の鞭で後ろから「足あげんか」と頭をコツンと叩きます。彼等は知らん顔をしてゾロゾロと門を通過します。

最近になって知ったことなのですが、我々アジアの農耕民族は米作りの第一段階として泥田のなかに足を入れなると耕しも田植えも草抜きも出来ませんし、移動するときも足を上に抜かないと位置を変える事ができません。それが何百年も継続された民族の日常生活のなかに狩猟遊牧民族と異なるDNAが働いてあの春、夏の甲子園の高校球児の様に私達の足は上がるのかな？と私は思っております。戦後GHQのMPがB・C級戦犯検挙でジープでやってきて何人かの監視員が捕虜虐待の嫌疑で東京巣鴨プリ

ズンにおくられたと風の噂に聞いております。当時私達の職場(精金室)の隣の銅精錬電解槽工場に若い捕虜が五六人働いておりました。勿論体は私より大きく(痩せておりました(歳も上でした。彼等は出退時には何時もカンズメの空き缶を腰に下げていました。私達が残業すると産報(産業報国会)より食事(めし)の特別配給がありました。仕事に使っている磁器製の大きな蒸発皿を持って食堂に行くと麦飯ですが山盛り一杯くれました。一人では食べきれませんので始めに捕虜2、三人に分けてやりました。上司にみつかれば大変ですが一度もばれませんでした。

八月一五日に終戦になり間もなくアメリカのグラマンF4Fの五、六機の編隊超低空で飛来し腹に取り付けていたドラム缶を捕虜収容所前の広場に何回か落としました。グラマンは翼を何回も振って南の方へ消えました。すると収容所の中から捕虜達が八八車やリヤーカーの様な運搬車を持って来てワアーワアー叫んで積んで帰りました。

明るく日からが大変でした。新品のGI帽、士官帽、折り目のついた服、コートバンのぴかぴかの靴、ひげそりの痕も青い元捕虜の兵隊、下士官達が足どりも軽やかに三々五々会社の門に入つて来ました。変なアクセントで「歩調取れ、かしらみぎ！」とやりました。慌てたのは何時も怖い顔で勤務している守衛さん。直立不動で答礼をしておりました。

其の、元捕虜達は八・一五迄は近づく事も出来なかつた工場事務所へ胸を張つて入つて来ました。私達社員には偉そうな課長達は、元捕虜達に「ヘイユウカチョサンシガレットサアビス」なんて言われて、口にしたこともないキヤメルやラッキーストライクやチェスタ

ーフィルドなど振る舞われ、ペコペコとしてヘラヘラ笑っていました。

私を見つけた顔見知りの捕虜は「ヘイ・ボウイン・プリイズカムヒヤ」と呼んで「プレゼントサアビス」と言つてチョコレート・ガムを両手一杯山盛りにしてズボンのポケットに二〇本入りの煙草を二つも三つもねじ込みました。名前も聞いた事もない煙草もありました。九月に入つて、春に採用された私達新入りは、予備役を命ずる一枚の紙切れで寮待機になりました。内外地の軍隊からの復員技術者や中国海南島他南方方面からの帰国技術者の為に駆出しの若者は足止めになりました。・・・とゆうことででしょうか。其れまでは本給三五円プラス手当で一五円。計五〇円の月給で寮費一〇円、残りが貯金と生活費でしたが、九月からは手当で無し、寮は昼食無し・・・米の無い時代で代用食を御



記)

(二〇一一、一一、八

2013年度
各自治体

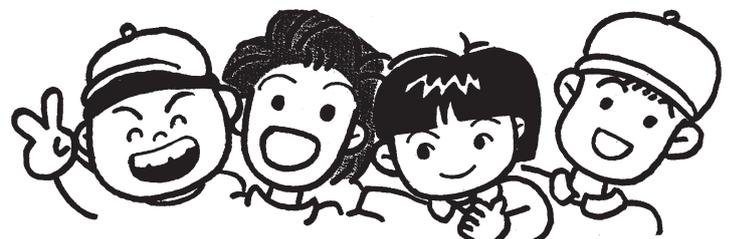
非核・平和

施策紹介

毎年各自治体で実施される非核平和施策を紹介いたします。これは市町村の関係部門へのアンケートを基に当会が集約した今年度の抜粋です。関係者の皆さんのご協力に感謝します。

自治体	住民への啓蒙活動や施策の内容	左記以外の施策	今年度の予算額	日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	世界平和市長会議への加盟状況	地域の草の根運動やNGOなどへの後援・共催	放射線測定器の所有の有無及び種類、活用状況
大阪府	大阪府・大阪市の出資法人である財団法人大阪国際平和センター(ピースおおさか)において通年で、戦争・平和に関する展示、映画上映、資料貸出、戦跡ウォーク等を実施。(小・中学生は入館料無料、子ども向け映画上映等)	特になし	大阪国際平和センター(ピースおおさか)への補助金 54,521千円	未加盟	未加盟	平和行進等へ 知事メッセージを送付	γ線用シンチレーションサーベイメータ γ線電離箱式サーベイメータ α線用シンチレーションサーベイメータ GM計数管式サーベイメータ 中性子線用サーベイメータ 可搬式モニタリングポスト 可搬式サンプラー (活用状況) 緊急事態に備え、防災担当職員及び危機管理室職員を対象とした機器の取扱い研修会などで活用している。
大阪市	ピース大阪において映画上映会等を実施		平成25年度当初予算 40,063千円、 財団法人大阪国際平和センターへの運営補助	未加盟	加盟	平和行進等にかかるメッセージを送付	シンチレーション式サーベイメータ、 個人用積算線量計 活用状況 ①東日本大震災により生じた廃棄物の処理にあたり、舞洲工場、北港処分地、市内24区役所の空間線量率を測定し、安全に処理出来ていることを確認し、その数値をホームページ等で公表している。②「東日本大震災により生じた災害廃棄物の広域処理に関する労働安全衛生指針」に基づき、舞洲工場、北港処分地の職員のうち、定められた作業に従事する者が作業環境管理を行うために着用している。
能勢町	12月に「人権と平和のつどい」を開催予定	該当なし	1,217千円	未加盟	未加盟	特になし	所有していない
豊能町	小中学校の修学旅行「広島・長崎」	未定	なし	未加盟	未加盟	なし	なし
池田市	・修学旅行で小学校は広島、中学校は長崎・沖縄を訪れ平和学習を実施 ・各小・中学校とも7～8月に非核・平和に関する学習を実施 ・人権や非核・平和をテーマにした作文やポスターを募集し、人権作文集・ポスターの展示・募集を作成して、全児童生徒に配布 ・人権ポスター展を開催。	平和行進団体の激励、メッセージ	605千円(市民安全実行委員会事務事業)	未加盟	加盟	なし	なし
箕面市	平和関連のパネル展等を行う予定(らいとびあ21) 平和関連のパネル展等を行う予定(ヒューマンズプラザ) 戦時生活資料展予定(郷土資料館) 以上、展示は日時未定	箕面市非核平和都市宣言の周知・啓発など	164千円(平和施策のみならず、人権、国際理解などと一体化した事業として)	未加盟	加盟	未定	消防本部において所有: サーベイメータ6個 ポケット線量計17個 活用状況: 随時
島本町	7月・人権と平和のつどい	平和・人権バスツアー、平和啓発アニメ上映、終戦記念日に関連した平和啓発記事の掲載	410千円	加盟	加盟	平和市民マラソン等へのメッセージの送付	なし
摂津市	7月・8月を平和月間と定め各種事業の実施 ・平和パネル展、平和演劇祭、市内公共施設における映画会等 ・平和黙祷の実施 ・広島・長崎への祈念式典への派遣(隔年)他	平和行進団体の激励、メッセージ	855千円(平和施策推進事業)	未加盟	加盟	平和行進の受入等の支援	なし
茨木市	非核平和展を開催予定7/30～8/4市役所本庁において、原爆死没者を慰霊し、あわせて世界恒久平和を祈念するための黙とうの実施を市民に呼びかける庁内放送を実施予定8/9阪急茨木市駅並びにJR茨木駅前にて非核平和街頭啓発を実施予定8月上旬	被爆石の設置(中央公園)市庁舎に懸垂幕を掲出 市公用封筒に非核平和啓発標語を印刷 市内各公共施設に非核平和都市宣言パネルを設置	1,606,000円	加盟	加盟	大阪よどがわ市民生協主催の平和のつどいへの後援	サーベイ&ドジメータ4台、 ポケット線量計34台 活用なし

自治体	住民への啓蒙活動や施策の内容	左記以外の施策	今年度の予算額	日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	世界平和市長会議への加盟状況	地域の草の根運動やNGOなどへの後援・共催	放射線測定器の所有の有無及び種類、活用状況
高槻市	<p>「非核・平和への取り組み」 ・非核平和都市宣言の周知(HPや看板等)・全国非核平和都市宣言自治体との連携・核実験への中止要請と抗議・平和モニュメントの管理・被爆の石の管理・平和展事業の開催・その他事業 被爆アオギリ2世及び被爆スノキ2世の植樹・資料保全(タチソパネル模型、語り部ビデオ等)平和啓発パネルの貸出し ①今年度の「平和展事業」8/8、8/9・常設展・パネル展示(広島・長崎からのメッセージ)・小学校の平和学習のDVD上映・折鶴・平和の木展示・被爆者の語り・平和を願う絵本の読み聞かせ・戦中食試食(8日のみ)ほか・講演会(8日)テーマ「平和へのメッセージ～被爆ピアノコンサート～」矢川光則さんによる被爆ピアノについてのお話・朗読弾き語り(ピアニスト・ソプラノ)ほか・音楽祭:テーマ「愛・いのち・平和」市民参加の音楽祭(9日)</p>	<p>非核平和都市宣言旗の作成 各種非核平和行進隊へのメッセージ送付 黙祷の実施(8月6日と9日)</p>	<p>非核平和都市宣言旗21千円、平和モニュメント等の清掃63千円、日本非核宣言自治体協議会分担金60千円、平和展事業 825千円 合計969千円</p>	加盟	加盟	<p>市が主催する平和展事業における企画運営を「一般社団法人高槻市人権まちづくり協会」に委託している。非核・平和に関するビデオ等無償で貸し出している。</p>	<p>シンチレーション式 1式 電子ポケット線量計 46式 GM管式15式(表面汚染測定器4式含む) 電離箱式2式、警報測定器82式 活用状況 3か月に一度、市内の空間放射線量率(1時間あたりの空間放射線量)を測定し、ホームページで提供</p>
豊中市	<p>平和月間事業:①「人権パネル展」「沖縄基地問題について」(予定)8月(予定)②人権文化のまちづくり講座「沖縄基地問題のその後について」8月(予定)(豊中人権まちづくりセンター)③「いじめと人権」をテーマにした講演会8月下旬④ヒューマン・ライツコンサート7/27⑤平和人権パネル展(内容調整中)8月中旬⑥平和映画会(内容調整中)8/12(蛍池公民館)平成25年度 戦没者並びに原爆犠牲者追悼式10/1(とよなか男女共同参画推進センターすてっぷ)非核平和都市宣言30周年①パネル展8/1～8/14(第二庁舎ロビー)②タペストリー掲出8/1～10/31(第二庁舎市民ロビー)③横断幕8/6～8/30(豊中駅前広場第一庁舎前)④図書館レシート7月下旬～8月(岡町図書館)・旭堂南北一人語り「ひ・ろ・し・ま」※平和の大切さを考える機会として「ひ・ろ・し・ま」にまつわる被爆者の思いをテーマとした演目による講演、一人語り8/24(豊中市伝統芸能館)わがまち蛍池「平和と人権週間」ほたる平和映画会8/12(蛍池公民館)※・戦争と平和に関する映画の上映・関連資料の展示・貸出展示「戦争と平和の本」市内8図書館において、近代から現在までの戦争と平和に関する本を幅広く集め、展示・貸出を実施。岡町図書館8/1～8/31服部図書館8/1～8/31庄内図書館8/1～8/30 高川図書館8/1～8/31 千里図書館8/1～9/1東豊中図書館7/30～9/1 野畑図書館7/2～9/1 蛍池図書館7/20～8/31平和月間パネル展8/16～8/21(豊中市立青年の家いぶき)※豊中市の平和月間に合わせ、大阪国際センター所蔵の写真パネル及び説明パネル及び説明パネルにより、戦争の悲惨さを知ってもらうため、いぶき利用者の方々に紹介する。平和月間パネル展「大阪に残る戦争の傷あと」8/7～8/12(中央公民館)※大阪府下に今に残る空襲の痕跡などの写真パネル20枚を展示①パネル展 戦時下を生きる一学童疎開の子どもたちー7/25～7/31(庄内公民館2階ロビー)②映画会 アニメ「一六地蔵物語ー戦争の犠牲になった子どもたち」「はだしのゲン」上映7/29～7/31(庄内公民館2階第1学習室)平和に関する映画上映8/27(千里公民館)※映画上映を通じて、平和について考える機会を提供することにより、非核平和都市・豊中として、核や戦争のない平和な世界の実現をめざします。つぶやき展 1/24～1/30(第二庁舎市民センター)※子どもたちのつぶやきから人権保育を市民に発信するとともに豊中市人権保育基本方針に基づいた子どもの人権について考える(H25年5月25日現在情報、事業内容変更等発生する場合あり)</p>		1,003,500円	加盟	加盟	<p>市民団体の平和の取り組みへの後援を行っている</p>	<p>電離箱式・GM式(ポケット含む)・シンチレーション式</p>



自治体	住民への啓蒙活動や施策の内容	左記以外の施策	今年度の予算額	日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	世界平和市長会議への加盟状況	地域の草の根運動やNGOなどへの後援・共催	放射線測定器の所有の有無及び種類、活用状況
吹田市	・小・中学生への啓蒙では人権と平和をテーマにした「じんけん作品」の募集・市民平和のつどい 非核平和資料展「原爆パネル展」・「大阪大空襲パネル展」及び市民から寄贈された戦時中の生活用品や軍隊に関する資料の展示8/2～8/8 「伝統芸能で伝える平和への思い」8/5・平和祈念資料室の管理運営 市民から提供された戦時中の生活用品や軍隊に関する現物資料等の常設展示及び平和に関する資料の収集と貸出し、平和映画会、平和に関するイベントの開催。	本年度は本市非核平和都市宣言30周年に当たるため、市内中学生18人を平和大使として広島市に派遣する(5年毎に実施)日本非核宣言自治体協議会に加盟し、広島平和祈念式典及び長崎平和祈念式典参列	37,871,000円	加盟	加盟	吹田市「平和の塔」実行委員会平和行進への協力	あり
守口市	平和のつどい(講演会・アニメ映画)8/9	被爆の日に黙祷(8/6・8/9) 終戦記念日に黙祷(8/15)	市予算4万円	未加盟	加盟	検討中	なし
門真市	①人権・平和に関する講演会の実施(予定)8月 内容:未定 講師:未定③小・中学生への啓蒙活動や施策 (1)市内小学校で修学旅行等での平和学習の実施 内容:千羽鶴の作成、原爆資料館の見学、修学旅行前の平和学習と原爆資料館見学後の平和学習 (2)市内中学校の修学旅行での平和学習の実施、内容:修学旅行前の平和学習と沖縄での平和学習、その後の平和学習	①人権や平和に関するビデオの購入と貸出 ②平和行進への対応	35,000円(担当課の総額)	未加盟	加盟	【後援】 <25年度> 5/10現在で後援の依頼はありません。	なし
枚方市	※枚方市では啓蒙活動という表現は使用せず、啓蒙活動として実施。 住民団体、学校単位で希望がある際に、戦争遺跡等の見学説明会を開催 8月 平和映画会 8月中旬(予定) 平和資料室特別展・その他 3月 枚方市平和の日記念事業 「平和の燈火」「平和メッセージ発信」	現在検討中	9,109,000円	加盟	加盟	特になし	なし
交野市	平和祈念式典(未定) 平和の鐘打鐘(市内寺院の協力により8/6、8/9実施予定)	なし	300,000円	未加盟	加盟	交野市「平和と人権を守る都市宣言」を進める実行委員会への補助及び平和祈念式典の共催	なし
寝屋川市	①恒久平和を願う市民のつどい8/10(寝屋川市民会館)・被爆ピアノコンサート・平和に関する講演会 講師:東 ちづるさん・平和のバラ写真展示・原爆・戦争パネル展示・戦中食「すいとん」試食コーナー ②平和のバラ苗木配布12/7(寝屋川市立総合センター1階) 平和のバラを育てることにより、幸福と恒久平和を再認識するために、希望する市民に抽選でバラの苗木を配布 ③親と子の平和バスツアー8/2日帰り(参加者・小学生以上の親子)姫路市平和祈念館の見学等 ④平和行進 6月～7月本庁玄関前平和関係団体来庁予定 あいさつ、お茶の接待等⑤黙祷(庁内放送) 寝屋川市民等来庁者に対し、広島・長崎原爆投下日、終戦記念日に黙祷の呼びかけ		恒久平和を願う市民のつどい1105千円 平和のバラ苗木配布192千円 親と子の平和バスツアー4千円 平和行進5千円	加盟	加盟		

自治体	住民への啓蒙活動や施策の内容	左記以外の施策	今年度の予算額	日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	世界平和市長会議への加盟状況	地域の草の根運動やNGOなどへの後援・共催	放射線測定器の所有の有無及び種類、活用状況
大東市	・折り鶴コーナーの設置・千羽鶴の作成 ・戦跡を巡るツアー ・ヒロシマ平和バスツアー ・広報誌や防災無線を使って、広島・長崎の原爆投下時間に黙祷 ・平和パネル展 ・親と子で平和を考えるつどい	なし	1,288千円	加盟	加盟	なし	なし
四條畷市	「平和人権展・語りつごう平和の大切さ」(8/2～3)・平和人権パネル展・子どもたちの笑顔写真展・戦中食試食会・子ども平和映画会・人権・平和ビデオ上映会・黙とう呼びかけ(庁内放送)来庁者及び職員に対し、広島・長崎原爆投下日、終戦記念日に黙とうの呼びかけを行う	平和行進・平和の火リレー受け入れ	356,000円	未加盟	加盟	なし	なし
東大阪市	住民へ 7月平和アニメフェスティバル、8月平和資料展、平和パネル展などを実施 小中学生へ 原爆被害者の体験講話、各学校での平和教室	人権・平和関連ビデオ貸出	平和行事経費 1,590千円	加盟	加盟	住民への啓蒙活動は、東大阪市人権啓発協議会、東大阪市人権擁護委員会と共催 各団体の平和行進に協賛	サーベイメータ 線量計
八尾市	長崎被爆体験講話 市内小中学校16校で実施(7月) 非核・平和都市宣言30周年記念「平和のつどい」(8月) 懸垂幕「非核・平和宣言都市 八尾市」の設置(8月) 黙とうの実施(8月) 平和パネル展(8月) 公用車に平和啓蒙のシートを取り付け(8月) 市民の戦争体験募集・FM放送(随時)		4,024千円	加盟	加盟	中河内地域で行われる平和行進に対するメッセージ対応(今年度は現時点では申請なし)	消防本部において所有 電離箱式サーベイメータ1台、サーベイメータ1台 レムガード1台、電子式個人線量計5台、ポケット線量計3台 活用状況:救助工作車に積載しており、災害対応としている。
柏原市	・小中学校への戦争体験の話(人権協会からの出前講座) ・「柏原市平和展」の開催8/3～5 ・柏原市市内全域で8月15日に終戦記念日の黙祷 ・関係機関から送付されたポスター・チラシ等を市内各施設に掲示 ・反戦、非核・平和に関するビデオなどの視聴覚教材の貸出	保育園と幼稚園の園児による平和メッセージカードの作成(柏原市平和展に展示) 平和行進への協力	1,355千円	未加盟	加盟	なし	なし
松原市	平成25年度非核平和展8/5～8/9(市役所1階市民ロビー)予定テーマ、予定企画内容:「平和への願い、子どもたちの笑顔のために」・原爆の図丸木美術館所蔵のパネル展示・大阪国際平和センター所蔵のパネル展示・広島平和記念資料館所蔵のパネル展示・ふるさとびあプラザ所蔵資料の企画展示・体験コーナー 折鶴コーナー、昔のあそび体験、大型布製紙芝居、玄米つき・上映コーナー(戦争関係のDVD等の上映)・読書コーナー(平和関連の図書や絵本)・ご意見コーナー・啓蒙物品の配布	非核平和展で市民の皆さんが折った千羽鶴を、市内小学校修学旅行時に、原爆の子の像に捧げてもらう 市役所正面に非核平和宣言都市の固定看板を設置 市役所中庭に平和を願うアネのバラ、愛吉・すずのバラを植栽 市役所1階ロビーに平和の鐘を設置 松原中央公園に平和の像を設置 広告塔設置(市の施設敷地内に7箇所)	712千円	未加盟	加盟	なし	サーベイメータ α・β用 γ・x用 ポケット線量計 活用状況:平成23年度に東日本大震災で岩手県に緊急消防援助隊を派遣し、帰郷時に各隊員の線量測定に使用した。平成24年度は使用なし。
藤井寺市	平和展の開催(8月)	なし	人権団体に、人権啓蒙事業・平和事業等の事業補助金を交付 128万円	未加盟	加盟	平和展事業	シンチレーション式サーベイメータ 空間放射線量を測定し、ホームページで紹介

自治体	住民への啓蒙活動や施策の内容	左記以外の施策	今年度の予算額	日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	世界平和市長会議への加盟状況	地域の草の根運動やNGOなどへの後援・共催	放射線測定器の所有の有無及び種類、活用状況
羽曳野市	市広報紙等による啓蒙 庁内放送により正午に1分間の黙祷をよびかけ8/6、8/9、8/15 「平和展」の開催(5/5) ・市民フェスティバル会場において、公益財団法人プラン・ジャパンより借用の「50カ国の子どもたち 写真とライフストーリー」のパネル展示 ・平和の願いを込めたハートの風船の配布などを通じて平和の啓蒙 ・「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名コーナーの設置 ・平和メッセージの募集 平和啓蒙パネルの展示(8月に予定) 市役所コミュニティスクエアにおいて、啓蒙パネルの展示・パンフレットの配架などを実施	平和ゲートボール大会(5/8) 憲法週間にちなみ、日本国憲法が保有する平和主義の精神について広く啓蒙し、平和の尊さについて考えるきっかけになることを目的に開催 「2013年羽曳野市ピースアピール」の発表 啓蒙ビデオの貸し出し	166,000円(平和推進事業予算)	加盟	加盟	なし	なし
太子町	終戦記念日の1分間黙祷	庁舎窓口付近での啓蒙DVD放送	人権団体に、人権啓蒙事業・平和事業等の事業補助を交付 712千円	未加盟	加盟	なし	なし
河南町	小・中学生に対する平和を含めた人権の作文・詩・標語等の募集を行う6月～9月 平和を考えるパネル展8月中頃 平和を考えるビデオ上映8月中頃 平和を考える町民の集い8月末	平和人権バスツアー(広報で募集を行い、バスで平和関連施設を訪問)10月		未加盟	加盟	未実施	なし
千早赤阪村	非核平和都市宣言懸垂幕の掲出 広報紙による啓蒙活動 平和写真パネル展の実施予定	なし	予算計上なし	未加盟	加盟	なし	なし
大阪狭山市	「平和を考える市民のつどい」を開催。 8/10(文化会館)で 広報誌等で、8月6日・9日・15日に黙祷を呼びかけ	なし	未定 (大阪狭山市人権協会の事業費で実施)	未加盟	加盟	市内の各団体に「平和を考える市民のつどい」への参加、参画を依頼。ライオンズクラブが開催する「国際平和ポスター展」の後援	なし
富田林市	広島原爆の日(8/6)、長崎原爆の日(8/9)、終戦記念日(8/15)に市役所内で黙祷と広報による市民への周知 ・小学生による非核・平和ポスターの取組 ・「第29回平和を考える戦争展」8/9～11(展示) 企画展「戦争が残したもの」15年戦争・大阪大空襲と全国の空襲 広島・長崎原爆について現物資料とパネル展示、戦時下の富田林(市民からの戦時品・遺品) 戦時下の生活ミニ体験 折り鶴、ピースアクセサリー、メッセージツリーなど(講演会)平和記念講演会の開催(映画・人形劇・紙芝居など)・「親子平和の旅」8/5～6 8月6日に広島で開催される「平和記念式典」に市民代表として親子1組(2人)を派遣 「親子平和の旅」8/5～6に広島で開催される「平和記念式典」に市民代表として親子1組(2人)を派遣	平和学習ビデオの貸し出し(通年)	2,469千円(被爆者関係除く)	未加盟	加盟	・「平和大行進」の受け入れ、市長メッセージの送付・その他、市民団体等が平和に関する事業を実施する際に後援	なし



自治体	住民への啓蒙活動や施策の内容	左記以外の施策	今年度の予算額	日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	世界平和市長会議への加盟状況	地域の草の根運動やNGOなどへの後援・共催	放射線測定器の所有の有無及び種類、活用状況
河内長野市	平和啓発事業として実施 愛・いのち・平和展7/26・7/27(市立市民交流センター) ①市内の戦争関連品や写真、戦時資料の実物展示 ②折り鶴コーナーや平和メッセージの発信 ③シベリア抑留語り部の講演 ④「すいとん」の試食体験など 夏休み子ども映画の集い8/31予定(市立市民交流センター) 平和に関する映画上映を開催 夏休み平和施設見学会(詳細未定)		415千円	未加盟	加盟	国民平和大行進及び反核平和マラソン大会に市長メッセージを送付	なし
岬町	町内各小学校(3校)・中学校(1校)で平和学習の実施	なし	0円	未加盟	加盟	なし	なし
田尻町	平和について考えるパネル展 町立学校における平和学習	なし	0円	未加盟	加盟	なし	なし
高石市	非核平和都市宣言啓発塔の常設(庁舎前) 「高石市非核平和展」(忘れないで平和の尊さ)の開催(7/25~8/9) (小学6年生などから寄せられた「平和ハガキ(約640枚)」の展示、非核・平和に関する写真等パネルの展示、アニメビデオの映写 懸垂幕「核兵器のない平和な世界をめざそう」の掲示(8月の1ヶ月間) 広報紙(8月号)の人権のページに、非核・平和に関する特集を掲載 関係機関から送付されたポスター・チラシ等の掲示・配布 反戦、非核・平和に関するビデオなど視聴覚教材の貸し出し	平和を祈念し、市職員の黙とう(8/6・9)の実施(広報紙で市民にも「黙とうに協力を」と広く呼びかける)		加盟	加盟	各種団体が実施する「平和行進」等へのメッセージの手渡し	有(ただし、委託先の堺市消防局が所有)
堺市	・平和と人権資料館企画展(原爆パネル展7/2~9/29) 平和と人権を考える市民のつどいの開催(7/13) (堺市が構成団体となっている世界人権宣言促進堺連絡会の主催) 「平和と人権展」の開催8/5~8/9 小・中学生への啓蒙活動や施策	8月に「非核平和宣言都市・堺市」の懸垂幕を市役所、各区役所に掲揚	平和と人権を尊重するまちづくり条例推進事業費 2,387,000円 自由都市・堺平和貢献賞 3,930,000円 平和と人権展 2,297,000円 平和と人権資料館運営費 16,520,000円 世界人権宣言促進堺連絡会事業補助金 1,215,000円 啓発塔 2,500,000円 堺原爆被害者の会補助金(2団体に交付) 160,000円	加盟	加盟	平和団体の取り組みに対し、飲み物の提供等による協力(平成24年度実績) ・反核平和の火リレー、第31回関西網の目反核平和マラソン、原水爆禁止国民平和大行進、被爆67周年 2012年非核・平和行進 ・堺原爆展(堺原爆被害者の会、堺原爆被害者2世の会主催)の後援	シンチレーションサーベイメータ2台 電離箱式サーベイメータ(2台) GM計数管式サーベイメータ(2台) エネルギー補償型GM管(2台) パンケーキ型GM管(1台) 中性子サーベイメータ(3台) ポケット線量計(6台) (活用状況) 災害発生時の現場における使用、並びにそれらの災害に備えた訓練時に使用(消防局で所有) GMサーベイメータ (活用状況) 放射線の影響に関する健康相談で必要がある場合に使用 (保健所 保健医療課所有) シンチレーションスペクトロメータ (活用状況) 市内に流通する農水畜産物を対象に検査を実施する。平成25年度の予定 検体数は20検体。但し、国が指定する17都県産の食品を優先 (衛生研究所所有)
和泉市	住民への施策 第15回平和千羽鶴展開催に伴う啓発と千羽鶴の公募の呼びかけを5月広報紙で実施、千羽鶴展は7月初旬から8月下旬の間、市内公共施設等に展示 平和映画会の実施を予定 小・中学校生への施策 各小・中学校へ「平和千羽鶴展」の案内 学校向けの平和啓発ビデオの購入とその貸し出し 市民から寄贈いただいた戦時用備品の貸し出し	人権平和市民研修会の開催(戦跡等のフィールドワーク等) 平和の集いの開催(講演会・コンサートやパネル展等)	1,135,000円	未加盟	加盟	市民公募による「和泉市人権平和事業実行委員会」と連携・協働実施	なし

自治体	住民への啓蒙活動や施策の内容	左記以外の施策	今年度の予算額	日本非核宣言自治体協議会への加盟状況	世界平和市長会議への加盟状況	地域の草の根運動やNGOなどへの後援・共催	放射線測定器の所有の有無及び種類、活用状況
泉大津市	平和メッセージ展7/11～15(いずみおおつCITY アルザアトリウム) 平和バス見学会(8/7) 平和パネル展7/17～7/31(泉大津市役所1階ロビー) サイレン吹鳴(8/6・9・15) 平和行進団体へのメッセージ「非核平和啓発看板」庁舎外壁に掲出、非核平和柱などを市内9か所に設置	なし	383千円	未加盟	加盟	「平和パネル展」にて「戦没者遺族の会」に一部展示スペースを提供	消防署において、ポケット線量計、簡易の線量計を災害時の備蓄としておいている
忠岡町	・中学校では沖縄への修学旅行の前に、平和学習を行っている ・平和行進(町長メッセージ)7月 ①啓発懸垂幕の掲示 ②街頭啓発 ③ピース大阪見学会(8月初旬予定) ④非核平和パネル展(8/2～8/9) ⑤非核平和図書コーナー設置(8/1～18) ⑥終戦記念平和祈念事業(町長メッセージ、平和の鐘打鐘)	特になし	非核平和事業啓発物品代 50,000円 借上料 90,000円 使用料 7,800円	加盟	加盟	特になし	なし
岸和田市	①子ども平和映画会6/22(マドカホール) ・小学生対象に午前・午後映画を上映。「火垂るの墓」 ・平和関係写真パネルのロビー展示。 ②平和行進・マラソン湯茶接待(時期未定・市役所新玄関) 平和行進・マラソン参加者に対し湯茶接待を行う③巡回平和パネル展(山直市民センター6/15～6/21、市役所新玄関6/24～7/2、産業高校7/3～7/8、春木市民センター7/9～7/16、東岸和田市民センター7/17～7/23、女性センター7/25～8/1) 「戦時中の市民生活」に関する写真パネルを展示し平和啓発を行う。 ④非核平和資料展(8/7～8/11自泉会館) 広島平和記念資料館より借用するパネル「サダコと折り鶴」の展示、原子爆弾投下当時の記録映像の上映、非核平和に関する現物資料等を展示し、平和啓発を行う。また、映画の上映、朗読グループによる朗読劇を実施する予定。 ⑤「被爆地・ヒロシマへの平和バス」(7/28～7/29広島市) 市民40人を広島へ派遣し、広島平和祈念資料館見学、平和祈念公園見学、被爆体験講話聴講、平和ビデオ視聴を通じ、非核平和に関する研修を行う。	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館・公益財団法人長崎平和推進協会が学校向けに無料で実施している ピースネット事業(長崎在住の被爆者がインターネットテレビ会議システムを通じて小学校児童に被爆体験を語る)を岸和田市立小学校5校を対象に実施。	平和推進事業 1,641,000円	加盟	加盟	非核平和資料展開催については、行政と市民団体が「平和を考える戦争展実行委員会」を組織し、非核行政施策に取り組んでいる。	なし
貝塚市	関係機関からのポスターやチラシの掲示・配布 「貝塚市平和教育基本指針」に基づき、各学校が平和教育に組織的・計画的に取り組む。 小中学校で夏季休業中に平和登校を実施。小学校は広島、中学校(1校を除き)は長崎、沖縄への修学旅行で反戦・平和を学習	原爆死没者の慰霊・平和祈念の黙祷・平和記念像・核兵器廃絶平和宣言都市碑・「平和のともしび」像	72万円	未加盟	加盟	平和行進へのメッセージ・激励 戦争と平和、人権を考えるつどい(不定期開催)	なし
熊取町	①小・中学生がポスターを作成することにより平和を学習 ②啓発用パネル及び上記で作成したポスター展を開催	平和フィールドワーク	144,000円	未加盟	加盟	申し出あれば協力する方向で検討	個人線量計 GMサーベイメータ 電離箱式サーベイメータ 中性子サーベイメータ シンチレーションサーベイメータ 可搬型ダストサンプラー (活用状況) 定期的な保守・点検整備を行うとともに、各機器の操作確認を実施している

自治体	住民への啓蒙活動や施策の内容	左記以外の施策	今年度の予算額	日本非核自治体協議会への加盟状況	世界平和市長会議への加盟状況	地域の草の根運動やNGOなどへの後援・共催	放射線測定器の所有の有無及び種類、活用状況
泉佐野市	①「平和を考えるつどい」(予定) ・反戦・平和に関するアニメ映画上映 ・広島・長崎原爆パネル展8/6前後に開催予定(泉佐野市立中央図書館) ②市広報への関連記事の掲載 ③庁内放送での黙禱の呼びかけ8/15	特になし	特になし	未加盟	加盟	①市民団体の反戦平和のパネル展示等への協力(展示用備品の貸出等) ②市民交流センターの「つどい」等反戦・平和・人権への取組への協力③その他、市民団体への後援・共催は、予算の伴わない形で随時実施	ポケット線量計 サーベイメータ (活用状況は特になし)
泉南市	①非核平和の集い 8/18(市立文化ホール) 1部:昔のうたを歌う会メンバーによるなつかしいメロディー 2部:落語+演芸+講演 NPO法人国境なき芸能団代表 笑福亭鶴笑さん NPO法人国境なき芸能団とは「私たちは世界にさきがけて憲法で戦争を放棄した国民であり、誰よりも平和を願う国民です。私たちは芸能・文化を通じて心を届け、人々に希望の灯りをとします。 ②懸垂幕の掲示 8/1~8/30(水道庁舎壁面) ③ビデオ上映8/1~8/15(市役所ロビー)「しんちゃんのおさんりんしゃ」 ④非核平和の図書コーナー8/1~8/30 (市立図書館) ⑤平和を考えるパネル展8/6~8/9(市立青少年センター)	なし	非核平和の集いチラシ・ポスター印刷代 80,000円 非核平和の集い事業費一式 200,000円	未加盟	加盟	「非核平和の集い」を泉南市人権啓発推進協議会と共催で実施	なし
阪南市	非核平和パネル展開催(8/5~8) 街頭で啓発運動実施(8/2予定)	特になし	特になし	未加盟	加盟	特になし	所有していない

ちょっと、紹介!

週刊うたごえ新聞2013年4月22日号(第2332号)の池辺晋一郎さんのエッセイ「空を見てますか」(第872回)に当会常任世話人の長尾正典氏が、「非核の政府を求める会ニュース」3月号に投稿した「隕石の落ちたチェリャビンスク」が引用されています

池辺晋一郎の
空を見てますか

〈第872回〉

先日の7月15日、現地時間9時20分くらい、重さ約17メートンの隕石が、ロシア、チェリャビンスク州村近に落下した。広島に落とされた原爆の約30倍、約500キロトンのエネルギーが放出されたという。負傷者1200人。損害は、約10億ルーブル(31億円)。このニュースに、世界中が騒いだ。核兵器用プルトニウム生産、三ウム生産、再処理、工場、アイソトープ工場を包含する化学コンピナートだ。そこで放射能汚染物の貯蔵タンクが爆発したのは1957年。広い地域が汚染された。その汚染の実態をロシア政府が公表したのは、爆発から40年近く経った1993年1月。被害者は45万人、1000人が放射能障害で発病していた。

今回、巨大隕石落下の地域は、前記核兵器関連施設の間近だったのだ。チェリャビンスクという湖にも落下した。この湖の北東88kmには、前記「マヤク」がある。南西15kmには核兵器関連施設がある。

立・解体施設を擁する「フラトウスト88」がある。落下の数日後、隕石取寄せ中止になった。それは、これら核兵器関連施設の存在や放射能による環境汚染の実態がさらけ出されたことを恐れたからではないかと推察されている。以上、非核の政府を求める大阪の会常任世話人・長尾正典氏の報告。

地球上では、何が起きるか全く分からない。超巨大隕石が人間の密集地域に落下するかも知れない。超巨大隕石が勃発するかも知れない。

それらを想像できないのは、すなわち人間の知能の限界を示していることだと思おう。

活断層だらけの日本では、原発政策を継続する。それはまさにその「限界」の証明だ。何が起きた時に初めて真に理解する。僕ら一般人はそれも仕方ないかもしれない。だが、一国の政策は、その「何か」を予測し、対策を練っておかなければならない。先日の隕石落下は、そのための教訓なのでないか。

(作曲家)